その夢は、きっと世界を変えていく





ラジャスタンの 民族衣装はレヘンガ



SPECIAL REPORT (日本デー・花火大会)

#### CONTENTS

- 2) 卒業生の「現在の夢」
- **3** 第37回交流会レポート (第12回卒業式·第13回贈呈式)
- (8) 令和元年度新入生紹介
- (10) 竜の子近況報告
- 14) SPECIAL REPORT I
- (15) SPECIAL REPORT II
- (16) 編集後記





### 夢について、私の語ること



th え **権 慧** 

1986年 中国黑龍江省生まれ 2008年 日本留学 2011年 東京大学大学院入学 留学生ともに「東大中文村上 春樹研究会」を発足 2013年 東京大学大学院修 士課程終了 修士学位取得 2018年 東京大学大学院博 士課程満期選学 東洋大学文学部 非常勤講師 2019年 お茶の水女子大学 文教育学部 非常勤講師 「先生、中国語が大好きになりました。」最近は受講生からのこの言葉に感銘を受けなが ら日々を送っています。

子供の頃の夢は今でもはっきりと覚えています。周りの多くの子供と同じく先生になるのが夢でした。その時はあまり深く考えず、ただただ教壇に立っていた担任先生に憧れていました。

その後時間が経ち、周りの環境が変わってもその夢自体は変わることなくどんどん具体 化、詳細化されもっと深層なことを考えることになりました。

「先生になって世界中の学生に文学を教えたいです。若い世代が文学の世界から知識と 勇気を得て、世界を羽ばたけるようにサポートしていきたいです。」

これは最初に竜の子財団に入る際に聞かれた、将来の夢についての話です。

振り返ると少し恥ずかしくなりますが、竜の子財団で教えていただいた「その夢はきっと世界を変えていく」という言葉を胸に刻んで、夢が実現できるように頑張りました。そのせいもあり、少しずつ夢に近づいてきたような気がしてホッとしています。

去年から非常勤講師として大学で働きはじめました。授業では中国語をメインに教えていますが、中国文学作品や映画、新聞記事などを取り入れて積極的に中国文化を受講生に伝えるようにしています。

先日授業が終わった後、受講生から「中国語が大好きになりました。夏休みにアルバイトして中国へ旅行に行きたいです。」と言われ、大きく感銘を受けました。私が最初に日本語を勉強した時のことを思い出し、感無量でした。

まだ新米講師ですが、今後も中国語授業を通して中国に興味を持つ若い世代が増えるよう、それこそ日中友好の架け橋になるような新世代を育てていきたいです。これが私の今の夢です。

竜の子財団で過ごした日々が大きな力になって、私の夢をサポートしてくれました。最後に私の夢を支えてくださった寄付者の方々、竜の子財団関係者に深くお礼を申し上げます。ありがとうございました。

#### ご寄付いただいた皆さまへ

この度、竜の子の奨学金生を代表して、寄付者の皆さまに心より御礼を申し上げます。

私達はそれぞれの夢を抱き、それらの夢が叶えるために日本へ留学しに来ました。選択した道は、楽で平坦な道ではなく、 経済的や精神的な面など様々な困難があります。しかし、寄付者の皆さまのご支援で勉強や研究に専念でき、自分の夢に向かって留学生活を送っております。さらに、交流会を通して日本の伝統や文化などを勉強しながら、様々な国の奨学生と親睦を深め、母国と日本以外の文化も理解することができます。

私達は、ご支援を賜った皆さまへの感謝の気持ちを忘れず、母国と日本の架け橋となって、世の中を明るくし、積極的に 社会全体の発展に貢献いたします。

(平成28年度竜の子奨学生 東海大学 チャンポーンパックディー インオン))

# 第37回交流会レポート

## ● 第12回卒業式 ●

平成31年3月13日 (水)、東京・全聚徳 新宿店にて竜の子奨学生9名が竜の子財団を卒業する日を迎えました。卒業生は着物で入場し、秋元理事長からの式辞をいただきました。卒業生代表の挨拶で曽さんが寄付者および関係者の皆さまへ心より御礼を申し上げました。

#### 理事長挨拶

#### 秋元 竜弥 理事長

今回新しく選ばれた4名の 方、そして再選考された方、 おめでとうございます。卒業 生の皆さん、これから色々な 道があると思いますが、本当 に頑張って下さい。一つだけ 竜の子財団の特徴を言います



式辞を述べる 秋元理事長

と、卒業式以外にも年2回から3回交流会の場を設けています。12年続くこの交流会では、富士山に登ったり、沖縄に行ったり、またはお茶などの日本の伝統文化に触れたり、東海大学で柔道もしくは相撲の体験をしたり、広島の原爆ドームや沖縄のひめゆりの塔などを見学しました。このように様々な交流会を行っているので、毎年卒業式になると、いままでのことが思い出されて、非常に感慨深い気持ちになります。

今回選ばれた4名の方、また再選考された方もそうですが、在籍生の交流会はこれからも続きます。皆さんがいつ卒業されるかは分かりませんが、本日は大切な交流会の機会なので、ぜひ良い交流会にしましょう。

卒業生9名の方は、今日、1時間ほどかけて日本の伝統 文化である着物を着ていただきました。日本和装の方、毎 年卒業する奨学生に着物をご提供していただき、本当にあ りがとうございます。卒業生の皆さん、是非本国のご両親 に、この晴れ姿をご覧いただいて下さい。

#### 卒業生代表挨拶

#### ー橋大学 <sup>ソウ</sup> \* シュン 曽 殺春

私が竜の子奨学生になった のは2015年、大学2年生の時 で、あっという間に4年が過 ぎました。奨学金贈呈式はつ い昨日のことのようです。竜



卒業生を代表して スピーチする曽 毅春さん

の子財団での思い出を振り返ってみると、自分がいかに恵 まれているのかを改めて感じます。大学1年生の時、家族 の経済的な事情で、自分で日本での高額な学資を賄うため に2つのアルバイトを掛け持ち、学業とアルバイトの両立 に大変苦労を強いられました。その際に、竜の子財団の奨 学生になれたのは大きな救いとなりました。竜の子財団 のお陰で私は学業に専念でき、交換留学や大学院への進学 など、とても充実した大学生活を送ることができました。 そしてそのおかげで、通常6年間かかる学部と修士課程を 合計5年間で取得することができました。また経済的な 支援だけではなく、竜の子財団主催の交流会によるサポー トも充実したものでした。交流会を通して、金沢、日光、 沖縄、熱海など、日本の各地を観ることができました。そ して陶芸、人力車乗り、三味線体験など、普段大学で体験 できない日本文化にもたくさん触れることができました。 また何より、毎回の交流会で竜の子奨学生の皆さんと関わ ることで、新しい考え方や違ったものの見方を知ることが でき、毎回いい刺激になりました。私にとって、竜の子財 団は研究に集中できる環境を与えてくれただけではなく、 新たな自分に気づけ、また視野を広げてくれる場所でもあ りました。

在籍生・新入生の皆さんに、卒業生として一つアドバイスをしたいと思います。竜の子奨学生として在籍する時間は本当にあっという間に終わってしまいます。毎年先輩方が卒業式の時に話されていましたが、自分も卒業して強く感じたことは、竜の子奨学生として在籍する時間は本当にあっという間に終わってしまうということです。私たちはほかの留学生より恵まれていることを忘れないで、皆さん色々全力で挑戦して下さい。そして卒業生の皆さん、竜の子財団に入った当初の申請書に書いた自分の夢、忘れていませんか。これからの新たな生活の中で、数え切れないほどの苦痛や、乗り越えるのに容易ではない壁にぶつかることもあるでしょう。そんな、決して楽ではない道のりに挫けてしまいそうな時は、竜の子財団での経験を思い出して下さい。どんなことがあっても、常に前向きな姿で、当初



の夢に向かって自分だけの道を切り開いて下さい。中国では「滴水之恩、当以湧泉相報:ディ シュェイ ヂー エン ダン ヨン チュェン シィァン バオ」という言葉があります。受けた恩恵がどんな小さなものであっても湧き水のように大きく返すべきということです。まだ何の貢献もできていない自分を恥ずかしく思いますが、4月から

東京の証券会社に就職する予定です。竜の子財団からのご 支援で勉強した金融知識を活かし、ビジネスを通して日中 の架け橋になり、微力ながら貢献していきたいと考えてい ます。最後になりますが、卒業生を代表して、秋元理事長 をはじめ、いつも陰で私達を見守って下さった皆さまに心 より感謝いたします。本当にありがとうございました。

### ● 第13回贈呈式 ●

同日、東京・全聚徳 新宿店 にて第13回贈呈式が開催されました。第13期は4名の留学生たちが、新たに竜の子 奨学生として迎え入れられました。小谷選考委員長のご挨拶の後、楊茹さんが新入生を代表して感謝の気持ちとこれ からの決意について話しました。

#### 選考委員長報告と挨拶 小谷 誠 選考委員長

平成31年度の新規の奨学生は4名でした。在籍生からは、再度申請者が9名おり、 選考いたしました。

新入生の4名は8大学から 12名の推薦があり、選考委員 会では学校の成績、経済的な



選考結果を報告する
小谷選考委員長

情況、留学の目標など、書類を審査し決定いたしました。 皆さん本当におめでとうございます。

この竜の子財団は秋元理事長をはじめに、「夢はきっと 世界を変えていく」というスローガンがあります。夢を持 つということはこの財団の一番大きな特徴です。夢を持つ とどういう良い点があるかについて説明させていただきま す。私が今から45年ぐらい前に、アメリカにあるマサ チューセッツ大学、MITというところに留学して、脳の 研究をスタートしました。2年間研究して、それからいま でもずっと脳の研究をやっています。皆さんが一生懸命勉 強すると、脳の中に記憶として入るのです。そして、試験 などがあると、記憶したことを読み出して書くことで、皆 さんは非常にいい成績を収めています。ところが、社会に 出たら、そのような問題ばかりじゃなくて、もっと複雑な 問題が出てきます。そういう時は、どうするかを考え、判 断し、そして実行するというこの3つの力が非常に大切に なります。その力は記憶をしている脳細胞ではなく、額の すぐ後ろにある前頭前野にあります。前頭前野の脳細胞が 発達している人は、それが判断力、やる気を起こすため、 学校の成績には関係なく、社会に出て出世する人です。

脳細胞前頭前野を育てるためにもっともいい方法は夢

を持つことです。極端なことを言うと、毎日学校で勉強せず夢ばかり見ていて、学校を本当に悪い成績で卒業しても、前頭前野はものすごく発達しているので、社会に出てから成功する人も非常に多いです。記憶は非常に大切ですが、勉強ばかりではなく夢を持つことで前頭前野を鍛えるべきです。この竜の子財団は秋元理事長がお話されたとおり、一番最初に夢を持ちましょうということから始まります。皆さん、夢を持って頑張っていただきたいと思います。

### 新入生代表挨拶 九州大学

楊茹

私は、大学2年生の時に1 年間交換留学をしました。そ の際に日本人の思いやりや優 しさに大変感謝した経験か ら、私自身が架け橋となり、 日中の繋がりをもっと深めた いと思いました。



新入生を代表して スピーチする楊茹さん

現在、私は環境問題の専門家を目指して、日々精力的に 研究を行っています。博士号取得後、中国に戻り、さらに 研究を続けたいと思っています。その際に、日本で研究し たことや語学力を活かして、中国を含むアジア各国の環境 問題の改善に力を尽くしたいと考えています。

今までは結果にたどり着くまでうまくいかなかったことが多かったです。これから先も、研究を含む日本での生活はうまくいかないことが多いとは思いますが、常に初心を忘れず目標に向かって頑張っていきたいと思います。

最後に、このたびは竜の子奨学生として採用していただ

き、誠にありがとうございました。私も積極的に新入生を サポートし、周りに困っている人を見かけたら、自分から 声をかけることで、たくさんの方々からいただいた温かさ に恩返しできればいいなと思います。

(担当:令和元年度竜の子奨学生 九州大学 楊 茹)

### ●祝賀会●

平成31年3月13日 (水)、竜の子奨学生9名が竜の子財団を卒業する日を迎えました。卒業生は着物の晴れ姿で入場し、来賓代表の伊礼様よりご挨拶を頂きました。卒業生を代表して、方梅さんは感謝の意を込めて今後の抱負を語りました。最後に、中村様より閉会のご挨拶を頂きました。

#### 来賓挨拶兼乾杯 伊礼総合法律事務所 伊礼 勇吉 様

今日は、まず9名の卒業生の皆さん、誠におめでとうございます。何年間か竜の子財団の奨学生として、研鑽を進められて、今回めでたく卒業



伊礼 勇吉様

され、こんなうれしい事はありません。竜の子財団の幹事として、お祝いを申し上げたいと思います。卒業生たちはかなり研究を積んできたと思うが、ただ研究を積むだけではなく、社会に出たら、これを社会に活かすことが一番大事です。

「知行合一」知ることと行動することが一致して初めて 引き出すという言葉が日本にあります。単に学問を知る だけだと足りないため、それを行動に移し、知ることと行 動を行うことが一致して初めて本当に知ったということ です。社会人になったら役に立てるように成長していた だきたいです。皆さんが自分の夢を持って、その夢に向け て頑張っていくことを非常に期待しています。この卒業 を機に、まさに腕を磨いて、知識を磨いて、前頭前野を磨 いて、活躍していただければと思います。

それから新入生 4名の皆さん、おめでとうございます。これから何年間か皆さんが日本でいろんな分野で研究を行い、卒業されると思います。その卒業に向けて、全力を尽くして、頑張っていくと同時に、社会人になったら役に立つことも忘れないで欲しいです。それから、あまりガリガリ勉強ばっかりをしてもしょうがない、勉強も大事ですけど、そればかりだとだめです。竜の子財団では様々な交流会があり、それにも積極的に参加して、貪欲に日本のあらゆる文化を感じ取っていただいて、それを自分のために活かしていただきたいと思います。

前にもお話しましたが、私の出身は沖縄県です。沖縄琉

球国の方針として、「万国津梁」という言葉があります。 それはどういう意味かというと、全ての国と仲良くやっ て、平和の世界を築くという意味です。そのために、沖縄 では小さい子供の頃から架け橋となって、世界平和に尽く したいという国の方針があります。皆さんも得られた知 識を活かして社会に役立て、仲良くやっていただきたいと 思います。自分の夢に進んでいくというのは、こんなうれ しいことはありません。新入生の皆さんも頑張って下さ い。卒業生の皆さんと新入生の皆さんのこれからの活躍 を祈念いたしまして、乾杯をしたいと思います。

#### 

私は竜の子財団の平成27年 奨学金生として採用され、今 まで4年が経ちました。今日 は卒業生を代表して挨拶でき る機会を与えて下さってあり がとうございます。



卒業生を代表して あいさつする方梅さん

私は医学生であり、研究が忙しく、アルバイトの時間を 確保することもままならないため、竜の子財団からの支援 は経済的な支えとなったのみならず、精神的な支えとして も大きな意味を持ちました。

4年前竜の子財団の面接を受けた時に、私は日本語力の不足を痛感しました。竜の子財団の交流会と会報誌の編集に参加し、いろいろな国の奨学生や先輩たちと会い、専攻以外の知識と将来の進路について貴重な経験を教えていただき、日本語力を高めることもできました。昨年は博士論文の最後の添削のため、私は精神的なストレスが多く、人生の中で一番苦しい期間だったと思います。そういう時に、熱海の交流会によって、竜の子奨学生たちに相談し、挫折から立ち直るきっかけとなりました。

# 第37回交流会レポート



今年3月、私は九州大学医学部を卒業し、2つの論文を 発表しました。これから中国に戻って、河北医科大学付属 第四病院で臨床医者として働きます。4年間、私の留学生 活を支えて下さった竜の子財団の関係者と寄付者の方に 心より感謝を申し上げます。

#### 閉会の挨拶 公認会計士 中村 元彦 様

皆さん、こんばんは。少し 簡単にご挨拶させていただき ます。

本日は卒業生の方、また新 入生の方、本当におめでとう



中村 元彦様

ございます。これから卒業される方も、これは終わりでは なくて、これからのつながりも本当に大事だと思いますの で、新しい始まりだと思っていただきたいです。

実は私も2年前に博士を卒業しまして、4年間大学で勉 強して、やっと博士号をとれました。今日「夢」について 何度か話されたと思いますが、実は私も竜の子財団に触発 されて、博士号をとろうと思っていたのです。私も最初に 思ったのは、「夢」は途中でなくなることがあって、普段 の仕事をしているとそちらに流されることがあります。 しかし、この竜の子財団と関わって、もう一度「夢」とい うことの大事さを強く感じました。その中で、途中で何度 か辞めようと思ったこともあるが、4年間で何とか博士号 をとることができて、また去年ある学会の方から賞をいた だくこともできました。そういう意味では、竜の子財団の お陰でもう一回「夢」を思い起こさせてくれたのではない かと思います。是非皆さんも「夢」、言葉だけではなくて、 皆さんが思っていることをしっかり実現していただきた いです。

夢を実現するというのは、実は一人ではできません。私 も学会で賞をもらった時に、やはりいろんな分野の人たち とつながって、その中でイノベートをもらいました。竜の 子財団も色々な分野の人、色々な国の人、色々な考えを 持った人たちが集まっています。こういう人たちが本当 に自由に交流し、今日もそうですが、本当に自由に議論で きるというのは、皆さんにとって財産になるでしょう。こ のつながりをこれからも大事にしていただいて、是非皆さ んもこれから頑張っていただけたらと思います。本日は 誠におめでとうございます。



民族衣装で参加の在籍生たち





理事長プレゼント(千羽鶴)

(担当:令和元年度竜の子奨学生 東京大学 朱 天嬌)



#### 秋元理事長から卒業生への記念品贈呈



グェンヴタオグェンさん



ソルヤーさん



タンインチャンさん



胡政飛さん



曽毅春さん



曹妍さん



方梅さん



劉叡さん



梁暁奕さん

#### オフショット



卒業生から各国のお菓子を頂きました!



日本和装様の着物は後ろからも綺麗です!



卒業して何を想うのかな





# 令和元年度新入生紹介 「座右の銘」

「初春の**今**月にして、気淑く風**和**らぎ」、新時代の幕開けと共に、竜の子奨学生として4名の新入生を迎えました。 奨学生同士の交流を通じて、お互いの日常の悩みを打ち明けたり、ストレスを解消したりできます。多くの場合、 一人で迷った時、アイデアを出したい時、決断を迫られた時などに、自分の胸に響く言葉があれば、心の支えに なり一歩を踏み出しやすくなります。今回は、新入生の皆さんの「座右の銘」をご紹介いたします。



学 カリン **曽 嘉林** (中国) 九州大学 大学院総合理工学府 物質理工学専攻 修士1年

私の座右の銘は「人間万事塞翁が馬」です。

長い人生の中で、「良いこと」「悪いこと」「嬉しいこと」「悲しいこと」様々なことがあります。どんな情況にあっても、次に起こることは予想できないため、毎度一喜一憂することには意味がありません。常に冷静さを保つことは大事だと思います。

例えば何か失敗してしまった時、その失敗は経験になります。そしてその経験を活かし、新たな挑戦に結びつけることができ、良いことになるかもしれません。また、良いことがあってもその良い状態はずっと続かず、悪いことに繋がるかもしれません。

これは日常生活だけではなく、研究においても同様です。私は現在、 有機化学の研究室に所属しており、日々研究に邁進しています。研究 では数ヵ月結果に結びつかないことが多くありますが、ある日突然良 い結果に転じることもあります。しかしこれは、良い結果が出ていな い時も全力で研究に取り込む必要と考えています。良い結果でないか ら日々を無駄にするのではなく、なぜ良い結果が出ないのかをよく考 え、いつか良い結果を得られると信じて、より良い結果に結びつけて いきたいと考えています。

人生は山あり谷あり、良いことも、悪いこともずっと続くわけではありません。そのため私はこれからも「人間万事塞翁が馬」という言葉を胸に秘めて生活していきたいと思います。



\*A ジェウク **全 宰煜** (韓国) **一橋大学** 大学院法科研究科 法学専攻 修士2年

座右の銘というほど大げさなものではありませんが、日頃「他人の立場に立って考える」ことを意識して暮らしています。これを意識することのメリットとしては大きく2つのことが挙げられます。

第一に、他人の立場に立って考えることで、より正しい判断をすることができるようになります。たとえば、XとYとの間でトラブルが発生し、訴訟で争われることになった場合、XにもYにも言い分はあるわけで、一度X・Yそれぞれの立場に立って考えてみないと、そもそも誰を勝たせるべきなのかの判断ができません。仮にXの話だけを聞いてそれに納得しXを勝たせたとしても、それはXにとっては正しい判断かもしれませんが、Yの言い分を聞いていない以上、客観的に正しい判断とは言えないからです。これは法律の世界に限る話ではありません。自分の判断に客観性をもたせるためには、他人の立場にも立って物事を考える必要があると思います。

第二に、必ずしも客観的に判断する必要はなく、単に自分の言い分を通すことが目的である場合(上の例でいうと、私がXの弁護人である場合)でも、他人の立場に立って考えることは重要です。他人の立場に立って自分の主張などをチェックすることで、どこをどう補完すべきかが見えてくるからです。「彼を知り己を知れば百戦殆うからず」という言葉があるように、第二のメリットもまた法律の世界だけでなく、企業の面接を受ける場合や顧客にセールスをする場合など、一般に妥当する話だと思います。

<u></u>





大学 **大** (中国) 東京大学 大学院教育学研究科 総合教育科学専攻 修士2年

私の座右の銘は「人生は一方通行」です。中学生の時からジャニーズのアイドルが好きで、高校生になってから嵐のファンになり、この言葉はもともと嵐のメンバーである櫻井翔の好きな言葉だと思います。時が過ぎ、今の私は嵐のファンではなくなったが、この言葉は今も私の中で響き、日々の行動や生活を支えています。

「人生は一方通行」を言い換えれば、人生は後戻りできないと私の勝手な解釈になるかもしれません。さらに一歩を踏んで考えてみると、「人生は一度きりだから、今を存分に生きる」の意味と、「過ぎたことは挽回できないので、過去にとらわれずに前だけを見る」2つの意味が込められているのではないかとまた勝手に解説していました。どちらにせよ、未来の自分が後悔しないように、現在の努力が必要不可だし、たとえ失敗や挫折があっても、悲しみを動力に変え、前向を楽しく過ごしていくという積極的な態度を示しています。この言葉のおかげで、つらいことがあっても、壁にぶつかってしまった。例えば、マインドコントロールを通じて乗り越えることができました。例えば、ミスが起こってしまった時、「あの時こうすればよかったのに」と悔れていた自分に、落ち込んでも挽回できないのでただ時間と気分の無駄遣いと言い聞かせ、この失敗を有意義にするために、失敗から学んだことや反省点をじっくり考え、前向きにとらえることにしました。

後悔をしないように、全力で「今」をできるだけ完璧にやり遂げること、それに、挫折も快く受け止めることがこの言葉からの学びであり、今までの人生を支えてきたし、これからも私の道しるべとして輝いていきます。



記 楊 (中国) 九州大学 大学院生物資源環 境科学府 環境農学専攻 修十2年

私の座右の銘は、「初心を忘れるべからず」という言葉です。

大学卒業後、環境問題の専門家を目指して日本に進学することを決めました。研究生活を初めてから2年が経ちましたが、とにかく実験や発表に追われバタバタしている毎日を送ってきました。それでも、「研究が面白いな、もっとこの世界で冒険したい」と思いました。

しかし、今年の4月から修士2年生になって、実験や発表以外に、第1本目の投稿論文の執筆に取り掛かりました。初めての論文執筆なので、思った以上に難しく、なかなか苦戦してしまいました。しかも、追加実験は予想通りの結果も得られませんでした。正直に言うと、辛いなぁと思った時も何回もありました。「自分は研究の道に向いていないだろう、4年後無事に卒業できるだろう、卒業したら夢だった大学の先生になれるだろう」といったことを悩んで諦めかける時もありました。

こんな辛さから解放されたきっかけは、編集委員の馮さんから今回の「座右の銘」というテーマをもらったことでした。このテーマを見た瞬間に、「初心を忘れるべからず」という言葉が頭に浮かび上がりました。今まで何回もこの言葉に救われ、励まされてきました。世の中には自分が望んだ通りうまくいくことが少ないです。困難にぶつかって、うまくいっていない時は簡単に諦めず、振り返って自分の初心を思い出し、積極的に目の前の山を乗り越える方法を見つけるべきです。

(担当:平成30年度竜の子奨学生 北海道大学 馮 岩飛)

# 竜の子近況報告



大好きな先生の 送別会にて(本人左)

#### オウ カネイ **王 佳寧 (中国)** 北海道大学大学院 教育研究科 教育行政学専攻 博士1年

#### **□日本の小学生生活を体験してきました** ▮

先週、フランスとベトナムの友達と一緒に札幌市近郊の某小学校で日本の小学生生活を体験しました。中国のネットで大ヒットしている日本の学校給食もようやく食べてみました!

私たちは自分の国の文化をそれぞれ簡単に紹介した後、子供たちと一緒にゲームをしました。子供たちが準備してくれた日本の伝統ゲーム – コマ回しを初体験しました。子供たちは真剣な顔でひもの巻き方やコマの投げ方を教えてくれたが、なかなか上手くできなくてとても残念でした。お別れの時に、子供たちは英語で感謝の言葉を述べてくれました。実は、こちらこそが感謝したいなあと思いました。

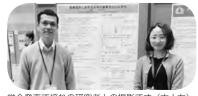
#### **|博士生活を始めました** |



ワークショップで発表している様子です(本人左端) サイ レイ カ **崔 麗華 (中国)** 

京都大学大学院 農学研究科 森林科学専攻 博士1年 皆さん、お久しぶりです! 今年の4月から博士に進学しました。責任感ももっと強く感じますし、順調に卒業できるかなという心配もありますが、一応今は楽しんで研究しています。先月はドイツのバンベルクで開催されたワークショップに参加しました。バンベルクはドイツの南部にある小さい町ですが、京都と同じく昔ながらの街並みが残されて世界遺産に指定されています。豚肉の料理とスモークビールが有名です!

様々な国から来た若手研究者たちが集まって1週間ほど一緒に暮らしながら、都市農業をテーマとして、ドイツの農場を見学したり、意見交換をしたり、充実した1週間を過ごしました。研究の話以外にみな興味も持っているのはもちろんお互いの国の文化や食べ物などでした。特にあまり知られていないアフリカやヨーロッパの小さい国(Slovakiaなど)の歴史や文化に関して勉強になりました。機会があったらいってみたいなと思いました。



学会発表で憧れの研究者との撮影です (本人右) ヨウ ジョ **楊 茹 (中国)** 

九州大学大学院 生物資源環境科学府 環境農学専攻 博士2年

### 第1本目の論文執筆をし始めました

3月末に新潟で行われた森林学会に出て、ポスター発表を行いました。人生初の学会に参加し、様々な研究発表を聞かせていただきました。同じ研究分野で活躍されている偉い先生方に直接アドバイスをいただき、想像していたよりも面白くとてもいい経験になりました。これを機に第1本目の投稿論文のストーリーが整理できました! 4月から修士2年生になって、追加実験をやりながら論文執筆に冒頭してきました。初めての論文執筆なので、思った以上に難しく、なかなか苦戦してしまいましたが、少しずつ努力を重ねて自分が目指している研究者になれるようにこれからも頑張っていきたいと思います。



携帯からとった写真と皇居外苑前最後の記念写真です

**タパマガルプナム** (ネパール) 東京電機大学 理工学部 学部3年

#### **「令和は平和になりますように」**

皆さん、令和おめでとうございます。令和時代になって毎日忙しい日々です。専門的な勉強や実験レポートー生懸命頑張っています。まだ分からないですが、夏休みの時間を利用してインターンシップにいこうかなと思っています。

私は今回は日本人の方に招待され、皇居一般参賀に行くことができました。 4 時間並んだ後やっと入れました、多くの方々が並んでいました。日本の天皇陛下を拝見することができ、本当に感激しております。令和は平和になりますように。

友達とご飯中~ (木太左)

#### パク ユンシク **朴 胤植(韓国)**

東京工業大学大学院 理工学研究科科学工学専攻 博士3年

# | 男子留学生たちの情熱の料理会! |

ゴールデンウィークの休日中、友達と料理会をしました。韓国の祝日に食べる肉の串焼きとズッキーニのチヂミを作りました。メインは餃子でした。肉、キムチ、野菜、豆腐の具材を入れたて蒸し餃子、水餃子、焼き餃子で食べました。たくさん作って大家さんとお隣さんにもお分けしました。お隣さんにも挨拶できて、お返しに果物や団子もいただいて嬉しかったです。料理の腕も上がったし、リフレッシュもできて、たまには料理会もいいなと思いました。次には日本の料理に挑戦してみたいです!



学会準備の封筒入れ作業

#### <sup>キン エキグン</sup> **金 奕群 (中国)**

早稲田大学大学院 商学研究科 商学専攻 博士2年

#### | 学会のお手伝い |

夏の料理って、やはりサラダですね。カロリーをカットするために、砂糖が入っていないレモン果汁をドレッシングとして使用してます。多少、胃酸が溢れているように感じています。

6月末以降、自分が所属している2つの学会が合併する予定です。そのあと、合併後初めての大会も早稲田大学で開催する予定なので、いろいろ手伝っています。自分の研究も報告するつもりです。スケジュールが結構タイトとなっていますが、頑張るしかないですね。



毎週金曜、サッカー試合でのあり姿(本人右)

#### ユルダシェブ サドラ (ウズベキスタン)

名古屋大学大学院 国際開発研究科 国際協力専攻 博士3年

#### 留学生活の改善

最近は、研究活動やゼミだけに集中してしまい、課外活動が少なくなり、周囲との接する機会も体力もだいぶ落ちたことを感じました。こんな毎日を改善すべきだと考え、研究以外のこともやることにより、体力も学業の効率もあがるかと思い、周囲とのネットワークを強化しながら、改めてサッカーをやり始めました。

これからは、研究生活で記録に残る実績や学会発表も増加しないといけないため、学業ライフバランスを大切にしたいです。



ゴールデンウィークに学部生時代の親友と 鳥取に旅行しました

チャンポーンパックディー インオン (タイ) 東海大学大学院 工学研究科 医用生体工学専攻 修士2年

### **一研究を頑張っています**

今年は大学院2年生になったため、去年より忙しくなっています。最近、中間発表が近づいてきているため、ほとんどの時間は研究室で過ごしています。そして、来月は、ポルトガルの学会に参加する予定で、その発表の準備もしています。

以前、臨床工学技士の資格を得たため、今年の夏休みに透析治療のクリニックでインターンシップを受ける予定です。学部生の時代も1ヵ月間病院で実習しましたが、今回は実習生としてではなく、臨床工学技士としてのインターンなので、穿刺など以前にできないことが今回体験できると思いながら、緊張しています。患者さんを痛めるのは怖いですが、頑張っていきます。

合掌造りの村にて(本人左端)

#### イム ウヒョン **林 佑炫(韓国)**

京都大学大学院 理学研究科 物理·宇宙物理学専攻 修士2年

#### ■修士2年になり、続けて研究を頑張っています

修士2年になって、今までの研究結果を学会で発表しました。発表を準備する過程や 背景の知識を持つ様々な人々とディスカッションする過程で、自分の研究に関する理解 が深まり、今までの研究を振り返って整理することもできました。

研究以外の時間では、サイクルやいったことのない場所を見にいくなどでリフレッシュしています。先日の連休には友達と合掌造りの村にいってきました。

今後も続けて、ライフバランスも大事にしながら、次の学会発表や卒業に向けて頑 張っていきたいと思います。



曾嘉林(中国)

九州大学大学院 総合理工学府 物質理工学専攻 修士1年

#### **「論文用データを収集しています」**

修士入学してからもうすぐ1年ですが、ようやく一本目の論文が近々出せるようになりました。現在、データの収集および解析を行っているところです。普段毎週土曜日は卓球をしていますが、最近はほぼ毎日研究室と家との往復だけの生活を送っています。忙しいですが、充実した日々を送っています。来月に学会発表の予定が入っています。人生初の学会発表なので、ちょっと緊張していますが、頑張って新たな一歩を踏み出したいと思います。



鬼怒川にて

# **「新しい趣味を始めました」**

今年の春から、トマトをはじめ、バジル、シソ、パセリ、食虫植物、さくらん盆栽を育て始めました。ベランダにプランター十数個をおいて、緑のカーテンができるくらい農植物が生き生き成長しています。すごいストレスが溜まっている中、植物を観察したり、愛をこめて水やりしたりして癒されます。先日、大量に収穫したパセリとシソを寮の皆様にお裾分けしました。皆から良い評判を得ましたので、非常に嬉しゅうございます。また、最近ランニングもし始めて、健康生活と研究の両立を目指しています。



学会の帰りの 九州新幹線にて

パク サンウォン **朴 相源(韓国)** 

東京工業大学大学院 物質理工学院 材料系 博士3年

### **「卒業準備に忙しい日々」**

皆さんお元気ですか?

私は最近博論の執筆に頑張っています。今年の7月に公聴会を予定していて、緊張しながら準備しています。まだ終わってはいませんが、博士課程最後の1年間は本当に辛い時期でした。順調に進んでいってると思っていた研究が、結局原因が把握できない実験結果が現れ、自分の限界を知りました。でも気を改めて新しいテーマにまた挑戦したいと思っています。

# 竜の子(OB·OG)近況報告



総長賞の贈呈式で撮った写真です。3月なのに汗だくでした(本人右)

マハウォンウィリヤ スタシニー (タイ)

#### | 入社と院試準 |

今年の3月に竜の子財団から卒業したのですが、卒業式に参加できず、非常に残念でした。卒業記念品でいただいた時計は職場に置いています。また、幸いなことに大学から総長賞をいただくことになりました。大学4年間頑張ってきて良かったと改めて思いました。現在、日本橋にある翻訳・通訳会社に勤めています。職場環境はとても気に入ってますが、12月頃に院試を受ける予定です。時間がある時にその準備をしていて、学生時代より忙しいですが、いつか夢が実現できると思うと頑張れる気持ちになります!



中国蘇州の工場内 (木 / 右端)

魏 登輝(中国)

東京外国語大学卒業

#### 令和の新時代と共に、日々自己研鑽

たまにはFACEBOOKなどで、皆さんの元気な姿を見れたりしますが、次の集まる機会があれば、是非直接色々お話しをしたいものです。

自分の近況として、実は令和という新時代と共に、僕も脱サラし、新しく起業することになりました。まだまだゼロからという情況ですが、機械パーツの輸出入や中古重機の輸出など貿易という分野で日々自己研鑚し、いずれは「恩返しできるよう」まで成長していきたいと思います。



早稲田大学韓国校友会の春期ピクニック

#### イ サンギュ (韓国)

早稲田大学卒業

#### 母校の韓国校友会にて

卒業生になったのももう2年目で、時間の速さに日々驚いています。去年に始まった 兵役義務は今順調に進んでいます。今年の6月でちょうど1年で、あと1年頑張ります! 最近は、母校の校友会の傘下に、若いというか…比較的に最近卒業した卒業生の小グ ループみたいな稲門会ができ、あそこのスタッフとしていろいろなイベントを企画した り、手伝ったりしています!

日本で一緒に勉強した友達と会ったらいつも留学生時代、特に竜の子財団での思い出が強く浮かびます。いつかまたみんなと夜遅くまで人狼ゲームやったり、未来について話したいです。皆さん、韓国に来たらぜひ連絡下さい!いつも皆さんの健康と健闘を心からお祈りします!



友達と一緒の卒業式 (本人右から2番目)

#### タン イン チャン (マレーシア)

筑波大学卒業

### **「今から修士を追求します!** |

令和時代明けましておめでとうございます。今はペナンでインターンシップしています。そして8月にヨーロッパに留学しにいきます!! ドイツの南側にある大学に入学し修士課程に進学しますので、竜の子奨学生の皆さんがドイツに来られたら、facebookで教えて下さい。一緒に遊びましょう!

また今度はOBOG会で会えば良いですね。それでは、竜の子の皆さんへ、お元気で!また会いましょう!



チェコ共同研究者たちと一緒に(本人左端)

ムン ギルジュ **文 吉周 (**韓国)

九州大学卒業

#### □7月にチェコへ2週間出張(共同研究) ┃

私は母国の鉄鋼会社に就職して6か月が過ぎました。入社したばっかりよりは業務に 慣れて楽しく会社生活を行っています。担当業務は熱間圧延のコイル形状および圧延 ロールを改善させる仕事をチェコの研究機関と共同研究しております。4月にはチェコ の研究機関から弊社を訪問して交流会を行いました。7月にはチェコの研究機関へ2週 間訪問して一緒に研究を行う予定です。忙しい会社生活ですが、一つ一つ学びながら成 果を挙げています。

末筆ながら皆さんのますますのご活躍をお祈り申し上げます。

(担当:平成29年度竜の子奨学生 東京工業大学 朴 相源)

# SPECIAL REPORT I

# ● ドイツの日本人街 ●

「デュッセルドルフに行ったらおいしいラーメンが食べれるよ。」 - ドイツ人友人

「散髪は必ずデュッセルドルフに行ってやってもらう、 日本人が運営している美容院に行ったら変にならない」

- ドイツ在住中国人留学生

「食べ物にこだわる友達はわざわざデュッセルドルフに 行って買い物をするよ」 - ドイツ在住日本人

今年の春、ドイツで調査をする機会があってドイツ西部にあるアーヘンにしばらく滞在しました。上の対話はその時にドイツに住んでいる友人たちから聞いた話です。調べてみたらドイツには驚くほど日本と近い関係を持っている都市があることに気づきました。今回のスペシャルレポートを借りて、ヨーロッパの最大日本人街デュッセルドルフを紹介したいと思います。

デュッセルドルフについて簡単に説明すると、デュッセルドルフはライン川沿いに位置し、ルール工業地帯の交通拠点でもあります。理想的な立地条件があったため、デュッセルドルフはこの地域一帯の経済の中心に発展してき、国際ビジネスセンターになりました。日本企業は1950年代ごろからデュッセルドルフに進出し、現在は約540社の日本企業が拠点を構え、駐在員やその家族を中心に、およそ6500人の日本人が居住しています。

デュッセルドルフ中央駅近くのインマーマン通りは日本人通りとも言われており、日系企業は200社を超えてい



ます。また、飲食店の他に書店や職局、薬局、不動産屋、旅行会社、クラーニング屋を記された。ドイツを表記されています。ドイツ在

日本人通りと言われているインマーマン通り

住日本人はもちろん、スイスやベルギーといった近隣国に暮らす日本人までもが、「日本」を求めてデュッセルドルフにやってくるらしいです。特に飲食店は種類も様々で、ラーメン屋さんをはじめ、居酒屋、お弁当屋さん、おにぎり屋さんまであります。ドイツのほかの都市にも日本料理屋さんはよくみられますが、本格的な日本食を食べるためにはデュッセルドルフにいかなければなりません。

デュッセルドルフにはまたヨーロッパで唯一の日本式の伽藍を持った寺院があります。恵光寺というお寺ですが、1993年、東西の文化交流のために歌立されました。日本の



設立されました。日本の インマーマン通りにあるラーメン屋さん

お寺がヨーロッパにあるのは極めて珍しく、ドイツ国内だけではなく、ほかのヨーロッパ諸国からも多くの人々が見に来るようです。日本と同じく、恵光寺でも様々な法要が行われます、特に除夜の鐘撞は人気があり、日本人以外にドイツ人も参加するみたいです。

最後のハイライトは、 「日本デー」です。2002 年から毎年恒例の「日 本デー」はデュッセル ドルフで毎年5月に開 催されています。毎回 約100万人を集客する世



日本デー・コスプレーヤーに埋められた ラインIII

界最大規模の日本関連イベントです。日本外務省や日本人コミュニティが中心となって、ドイツ人に日本文化を紹介するテントや舞台で多彩なプログラムを披露しています。着物の試着、書道の実演、侍の陣、邦楽演奏が毎回、人気を集めています。「日本デー」のフィナーレは花火!日本で製造された本格的な大型花火が日本人花火師によってデュッセルドルフの夜空に華麗に打ち上げられるものです。花火大会も綺麗ですが、日本デーの一番の見どころは、コスプレです。ドイツ中の日本アニメ・漫画ファンがデュッセルドルフに集まり、大活躍します。様々なコスチュームに身を包んだドイツの若者たちがライン川を埋め尽くす風景もなかなか面白いです。





日本デー・コスプレーヤーたちの大活躍 (担当:平成30年度竜の子奨学生 京都大学 崔 麗華)

# SPECIAL REPORTII

# ● インドの女性の民族衣装 ●

インドに行ったことがある方やインドを紹介したテレ ビ番組を見たことがある方などは、男性が洋服を着ている のに、なぜインドの女性は洋服を着ないのか、みんなが着 ている服はどういう服なのかを気になるかもしれません。 その服は、サリーというインドの民族衣装です。

サリーは、上半身はお腹を隠さないように短めのブラウ スを着て、下半身はスカートで一枚の5~9メートルくら い長細い布から作られ、腰を巻き、残りの布は肩の上にか けるスタイルの服です。

サリーの由来は、神様が着ていた服を真似したもので す。神様の臍は天地や命の源などと繋がりがあると信じ られていたため、お腹を出るようにしていたそうですが、 臍を他人に見せてはいけない文化の地域もあり、それに よって、残りの布を肩にかけることによって臍を隠し、お 腹が少しだけ出る着方もあります。着方は数えられない くらい多いので、各地域の文化や個人と合わせられるのは 便利です。

サリーは女性が毎 日着る服ですが、若 者より結婚している 女性がよく着ている イメージが強いです。 その理由は、結婚す るに前どんな服を着 ても周りからの評判



サリーを着た高校の先生方

はその本人に対する想いしかないため、洋服の方が日常的 に便利で、若者は日常的に洋服を着ています。一方、既婚 者は本人に対して評判されることではなく、義父母から も、そして、夫の周りからも、家族全体として評判されて しまうため、服装を選ぶには要注意です。



卒業式の服装はサリ-

洋服を着る場合は、宗教がと ても厳しいインドではスボンや スカートの長さ、シャツの袖の 長さなどが短すぎると非常に悪 い印象を与えてしまいます。広 い国なので地域によって考え方 や文化の違いもあります。どう しても自分がとてもささやかな 服を着ていると思っても、他人 からは不適な服だと思われてし

まう場合もあります。そのため、インド全国で一番謙虚な 服装のサリーを着れば損がなく、必ず周りから良い評判に なります。既婚者のイメージであると言っても、若い者も 時々サリーを着ています。学校・大学の卒業式や大事な 社会イベントなどではサリーを着るのは基本です。

それでは、若い者にはどんな 民族衣装をよく着ているので しょうか。以上のことにより、 インドは広域な国なので、サ リーはインドの一つの民族衣装 であり、その他にはサルワルや レヘンガなど様々な種類があり ます。サルワルは若い女性が一 番よく着る民族衣装で、一般的 に長い袖のシャツと長いスポン と一緒にデゥパッタという薄い



若者がよく着る インドのサルワル

マフラーを両肩にかけて着ます。サリーよりも洋服に近 く、着る時間がよりかからなく、動きやすい服なので、国 立の教育施設の制服としてもよく採用されています。

レヘンガはラジャスタンの民族衣装で、サリーと異なっ て3枚の服からできています。上半身はチョリという短 いブラウスを着て、下半身は腰を巻く形ではなく、洋服の ように長いプリーツスカートの形で、それに、ネットの デゥパッタを頭や肩にかけて着ます。レヘンガは民族衣 装としてきるだけではなく、サリーの形に近いが、サリー よりとても動きやすいので、インドのダンスでもよく着る 服装です。

インドはとても広い国で、100言語以上の地方言語が存 在し、英語とヒンディー語が共通言語として使用されてい ます。言語の違いだけではなく文化の違いもあり、各地の 民族衣装が違っています。以上の民族衣装以外にも数え られないほど種類があります。男性の民族衣装はドティ という白い布を腰に巻く服装があり、昔マハタマガンジー が来ていた服です。 現在、街で見かける頻度は少ないが、 村などではまだ日常的に着ているそうです。

民族衣装はその国の文化や生活習慣なども反映してい ます。このように、サリーという民族衣装は毎日着ること によってインドの文化を無意識に次世代に伝えていきま す。これは時間と共に消えてなくならなず、伝統を守る利 点となるでしょう。

(担当:平成28年度竜の子奨学生 東海大学 チャンポーンパックディー インオン)

#### 編集後記

#### 東海大学 チャンポーンパックディー インオン 委員長

この度、竜の子の会報誌第24号の編集委員長を務めさせていただきました。皆さんとのディスカッションでたくさん勉強で き、貴重な経験が積めました。編集委員の皆さんのおかげで、本会報誌が完成できました。誠にありがとうございました。今 回の担当部分はインドのスペシャルレポートの記事です。以前の留学経験の懐かしい思い出を思い出しながら原稿を作成する のはとても楽しかったです。自分の経験を通して皆様にインドの文化を伝えることができるのは何よりも嬉しかったです。

#### 東京工業大学 朴 相源 副委員長

この度、竜の子奨学生の第24号会報誌の副編集長を務めさせていただきました。私は現役生とOB・OGの近況報告編集を担 当いたしました。皆さんのご協力のお陰で近況報告編集を無事にまとめることができました。特に卒業してからも竜の子財団 との絆を忘れず近況報告をしてくれたOB・OG方々に感謝します。各国の人々と意見を交わしながら会報誌を完成させること は私にとってとても素晴らしい経験でした。竜の子財団の関係者皆様が楽しく読んでいただけますと幸いです。

#### 崔 麗華 京都大学 委昌

この度、初めて「竜の子奨学生」会報誌の編集委員を担当させていただきました。毎回交流会の際にいただいている会報誌 がどういう流れでできているかを分かるようになり、素敵な経験でした。最後の会議では編集員皆が東京で集まることができ て良かったです。会議後は一緒にご飯も食べれて、皆ともっと仲良くなった気がします。

#### 北海道大学 馮 岩飛 委昌

私は皆さんに配慮していただき、新入生紹介の部分を担当しました。新入生の皆さんに 文章作成の依頼をし、原稿を期限までに集めるなどの作業を行いました。はじめての編集 経験だったため、編集者目線でしか見られないものが沢山ありました。そして何より、皆 さんの書いた情熱溢れる文章を読んで、竜の子奨学生になった私たちがいかに恵まれてい るかを改めて実感しました。



第3回編集会議後にて

#### **朱 天嬌** 委員 東京大学

この度は、竜の子奨学生第24号会報誌の編集委員を担当させていただき、誠にありがと うございました。今年の新入生でもあるので、3月の贈呈式以来、初めてお話した方々が 多かったのですが、編集会議や会議後の食事を重ねて委員の皆さんと交流も深め、とても 楽しい時間を過ごせました。また、初めて編集という仕事を経験させていただき、いろん な方面からの学びも多かったです。



第2回編集会議にて

#### 楊茹 委員 九州大学

この度、「竜の子奨学生」第24号の編集員を務めさせていただきました。私は交流会レ ポートの部分を担当いたしました。皆さんの録音音声を聞き、原稿に起こすことは予想以 上に難しく、日本語の曖昧さを感じました。苦労しながらも、会誌編集を皆さまと協力し て最後まで仕上げることができました。ありがとうございます。編集会議とメールでのや り取りで皆さまと仲良くなり、元気をいただけたことに心より感謝いたします。



### の夢はきっと世界を変えていく」

希望をかなえる為 僕たちは生きている その夢はきっと世界を変えていく 平和のため いろんな事があるけれども どんなときでも

作詞: 竜の子奨学生

作曲:班 文林 (平成21年竜の子奨学生)

仲間とともに乗り越えて 竜の子の誇りを胸に 夢 希望をかなえる為 みんなは生きている その夢はきっと世界を変えていく かならず

